

平成29年度 事業報告書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 ECO フューチャーとっとり

1 事業の成果

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター（以下「センター」という。）は、鳥取県における低炭素社会の実現に向けて、人や組織が出会い、対話し、課題解決をするための機会や仕組みをつくることによって、多様な主体の参加による市民力の創出に寄与し、鳥取県における地球温暖化防止活動の推進に貢献することを目的として事業を実施している。

平成29年度は、昨年度に引き続き地球温暖化防止に係る情報の発信や鳥取県地球温暖化防止活動推進員の養成及び活動支援、環境について専門的知識を有し環境教育実践経験のある人材を広く県民に紹介するとっとり環境教育・学習アドバイザー制度の運用等を実施した。また幼稚園児や小学生を対象にした環境教育「ちびっ子エコスタート事業及びエコ活ノート出前教室実施業務」、鳥取県最大の資源である豊かな自然が生み出す多種多様な再生可能エネルギーについて未来を担う子ども達が体験・学習する「夏休み！自由研究再エネ体験ツアー」実施業務、間伐材や木質ペレット等多様なバイオマス利用による再生可能エネルギー設備のさらなる普及を目的とした「第25回せいきょうまつり木質バイオマス普及啓発業務」及び地域における地球温暖化防止活動の基盤を形成することを目的とした「地域における地球温暖化防止活動促進事業」を実施した。

2 字義業の実施に関する事項

I 地球温暖化防止推進事業等業務

1 地球温暖化防止推進事業

- (1) 家庭・地域で地球温暖化防止につながるライフスタイルやワークスタイルを県内に広く提案し、実践を促すための普及啓発活動

ア 地域での温暖化防止活動の情報共有及び県内外への発信

地球温暖化防止に資する情報や地域の取組を、推進員や県内外から発掘・収集し、ニュースレター、ホームページ、新聞紙面等を活用しながら、県内外に情報発信を行った。

- ・ニュースレター 4回×500部
- ・ホームページ 随時更新
- ・フェイスブック 計198回
- ・新聞原稿提供 日本海新聞「とっとりエコクイズ」：17回
日本海新聞「とっとりエコ検定」：2回
日本海新聞「お薦めの一冊」：1回
日本海新聞「地球温暖化はいま」：計9回
- ・鳥取県生活協同組合機関紙「とりコープ」への情報提供
- ・メディア出演 ダラズFM番組「未来のためにCOOL CHOICE」
日本海テレビ番組「宮川大助・花子のハテはてな？」出演

イ 昨今の地球温暖化問題に係る国際情勢などの最新情報や行政施策の情報収集及び収集した情報の県民への周知

地球温暖化防止施策や国際情勢など、昨今の情報を収集しメールニュースやホームページ等により情報提供を行った。またイベントを通して、多くの県民に顔の見える距離できめ細かに情報を提供する機会を持った。

- ・メールニュース配信：11回
- ・フェイスブック投稿：8回
- ・セミナー共催・講師派遣：6回
- ・イベント等での県民への効果的な省エネ対策の提案：10回

(2) 温暖化防止に係る知識とファシリテーション技術を持ち、地域における温暖化防止活動をリードする県地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）の育成

ア 推進員養成研修（エコサポーターズ養成講座）の実施

養成研修は、昨年に引き続き2日間のうち第1日目を必修講座、2日目を選択講座とした。

必修講座は、東部・中部・西部それぞれの地域の特性に合わせて、その地域で活動する団体等と共催とした。内容は、地球温暖化の科学的知見と最新情報、更に地球温暖化防止に関わる地域の実例と環境教育活動の実際を、仲間づくりをしながら体験できるように構成した。

選択講座は、地域で活動を展開するための具体的な活動を効果的に学ぶためOJT型（実地での実践型）研修とした。

(ア) 必修講座

- ・西部会場：平成29年10月25日～25日 於：米子コンベンションセンター第2会議室
受講者数 12名
- ・中部会場：平成29年10月28日～28日 於：鳥の社（倉吉白壁土蔵群）
受講者数 6名
- ・東部会場：平成29年10月29日～29日 於：鳥取環境大学学生センター多目的ホール
受講者数 10名

(イ) 選択講座

- ・西部会場：平成29年11月23日 於：米子市ふれあいの里 受講者数 10名
- ・中部会場：平成29年11月26日 於：倉吉未来中心 受講者数 3名
- ・東部会場：平成29年12月9日 於：公立鳥取環境大学 受講者数 9名
平成30年1月20日 於：県民ふれあい会館 受講者数 5名

イ 推進員スキルアップ研修の実施

推進員のスキルアップを図るため、スキルアップ研修会を計11回行った。研修会の企画・実施にあたっては、実際のイベント等でのプログラム作りからイベント当日の実践を通して、推進員同士で伝える内容を深めたり技術を高め合ったりできるように努めた。

ウ 推進員の活動に対する助言及び支援

推進員の活動を支援するため、エコ端会議等を計22回開催し、指導、助言、協議を行った。

エ 推進員を活用し、市町村と連携したエネ活（家庭の省エネ・再エネ導入）の促進

推進員不在市町村の推進員候補者掘り起こしを兼ね、市町村を訪問して温暖化問題学習会の開催依頼を行った。また、上映会やエコドライブ講座の開催を打診しながら、今後の連携を模索した。特に、次年度につながるよう推進員養成講座広報の協力依頼、出前教室等の紹介を行

い、気軽に推進員やセンターを活用していただくよう依頼した。

温暖化問題学習会開催、イベントブース出展に際しては、推進員の活用を図った。

【推進員不在又は少ない市町村との連携事業】

- ・北栄町：平成 29 年 6 月 9 日 環境研修会
- ・大山町：平成 29 年 8 月 17 日 上映会「カレーライスを一から作る」
- ・日南町：平成 29 年 10 月 21、22 日 日南町ふる里まつり
- ・日吉津村：平成 29 年 3 月 8 日 エコドライブキャラバン

【その他市町村と連携した事業】

- ・境港市：平成 29 年 6 月 15 日 キャンドルナイト in 境港
- ・米子市：平成 29 年 8 月 19 日 米子市環境フェスタ
- ・鳥取市：平成 29 年 8 月 20 日 鳥取市地産地消フェア

2 とっとり環境教育・学習アドバイザー制度運用事業

環境について専門知識を有する人材を広く県民に紹介することにより、体験を重視した環境教育を支援し、実践的、主体的な環境学習の促進を図ることを目的として、次の事業を実施した。

(1) アドバイザー制度のPR業務

ホームページにアドバイザーの活動報告を分野別に整理し、環境学習会主催者等がアドバイザーを選定しやすくなるように配慮した。

(2) アドバイザーの人材発掘

今日的な課題に取り組む環境活動実践家を中心に情報収集し、アドバイザー登録を促した。(新規登録者 9 名)

(3) アドバイザーと環境学習主催者との連絡調整業務

環境学習の主催者からアドバイザーの紹介依頼を受けた場合、主催者が予定する学習内容に合致すると思われるアドバイザーを紹介した。また、主催者に環境学習を企画するにあたっての助言を行い、環境学習会が有意義かつスムーズに開催できるように実施した。(アドバイザー紹介及び相談件数 計 12 件)

(4) アドバイザーの活動状況把握業務

アドバイザーが前年度に活動した概要について、報告を受けたり取材をしたりして資料を作成しとりまとめた。また活動概要をホームページ用に編集し、掲載した。(報告者数 14 名)

(5) アドバイザーの資質向上研修業務

環境学習会を実施するにあたって必要となる知見とプレゼンテーション能力を身に付けるための講習会を開催した。開催にあたっては、ESDの手法である「学び合い」による資質向上を目指し、以下のように 2 回開催した。

ア とっとり環境教育・学習アドバイザー研修(サステイナビリティ研究所シンポジウム 共催)

- ・主 催：公立鳥取環境大学サステイナビリティ研究所
- ・日 時：平成 29 年 10 月 16 日（月）14:40～16:10
- ・会 場：公立鳥取環境大学 学生センター2 階 多目的ホール
- ・講 師：村上 靖典 氏 環境省総合環境政策局環境計画課企画調査室室長補佐
原田 幸也 氏 環境省中国四国地方環境事務所環境対策課長
- ・参加者数：アドバイザー11 名（総数約 130 名）

イ とっとり環境教育・学習アドバイザー集合研修会

- ・日 時：平成 29 年 3 月 4 日（日）13:30～16:30
- ・会 場：カフェソース MID（倉吉市上井町）
- ・講 師：井澤 友郭 氏 こども国連環境会議推進協会 事務局長
中前 雄一郎 氏 とっとり環境教育・学習アドバイザー（元小学校校長）
- ・参加者数：アドバイザー・推進員等 19 名

II ちびっ子エコスタート事業及びエコ活ノート出前教室実施業務

1 ちびっ子エコスタート事業

幼児期から環境を大切にする気持ちを育むため、幼稚園、保育園及び認定子ども園（以下「幼稚園等」という。）の園児、職員等を対象とした環境学習会に講師を派遣することにより、園児、職員及び保護者へのエコ育（幼稚園等や家庭での生活をエコの視点で見直し、人間も自然の一部であることに気付き、しっかりとした生活リズムを身に付けること）の啓発を図った。

(1) 園長等向け環境学習研修会

- ・開催月日：平成 29 年 7 月 3 日
- ・開催場所：米子市立富益保育園
- ・参加者数：大人 32 名
- ・テーマ：未来につなぐ子育て

(2) 園児向け環境学習研修会

- ・米子市立富益保育園
開催月日：平成 29 年 8 月 23 日
参加者数：子ども 66 人
テーマ：エコ劇場「エコ博士と地球をすくおう！」
- ・北栄町立大谷こども園
開催月日：平成 29 年 10 月 24 日
参加者数：28 人（年少 9 人 年中 12 人 年長 7 人）
テーマ：エコ劇場「エコ戦隊スナバーズ」

(3) ちびっ子エコスタート事業の広報

ちびっ子エコスタート事業制度をより多くの幼稚・保育園で実施できるように、「ちびっ子エコスタート事業講師派遣案内チラシ」及び「エコスタート ほしとりノート」、実施希望アンケートを県内幼稚・保育園（計 207 園）並びに各市町村へ送付し、実施意向調査を行った。

2 エコ活ノート出前教室実施業務

(1) エコ活ノート出前教室

家庭で取り組んでほしい環境に配慮した活動をまとめたエコ活ノートを教材にして、小学校に講師を派遣して出前教室を実施することにより、小学生及びその保護者へのエコ活（資源を大切に環境に配慮した生活を行うこと）の啓発を図った。

【実施校】

NO	学校名	学年	実施クラス数	児童数(人)
1	鳥取市立大正小学校	5年	1	29
2	鳥取市立鹿野小学校	5年	2	36
3	米子市立福生東小学校	5年	4	106
4	鳥取市立河原第一小学校	5年	1	36
5	鳥取市立津ノ井小学校	5年	1	42
6	八頭町立船岡小学校	5年	1	25
7	岩美町立岩美南小学校	4年	1	33

(計 614 人)

(2) エコ活ノート出前教室の広報

市町村の温暖化担当課と連携してエコ活ノートの活用の方策を模索する目的で、市町村訪問を行った。

【訪問町村】

岩美町、若桜町、智頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、南部町、伯耆町

III 「夏休み！自由研究再エネ体験ツアー」実施業務

鳥取県最大の資源である豊かな自然が生み出す多種多様な再生可能エネルギーについて、未来を担う子ども達が体験、学習する場を設け、環境意識の醸成や環境活動の推進を図った。

1 概要

小学生を対象に、再生可能エネルギーをテーマとした夏休みの自由研究を作成する体験型講座を4コース（西部2コース、中部1コース、東部1コース）設け、各コースにおいて施設見学、環境教室（ストップ温暖化教室）、ソーラー行灯工作又はエコクッキングを実施した。

講座実施後は、その概要を鳥取県地球温暖化防止活動推進センターホームページに掲載した。また、参加者にアンケート調査を行なった。

2 各コースの概要

(1) 西部Aコース

・日時 : 平成 29 年 8 月 9 日 (水) 9:30~17:00

- ・見学施設 : 協同組合レングス、おーゆ・ランド／おーゆ・ホテル
- ・ストップ温暖化教室 : 西部総合事務所
- ・参加人数 : 計 44 名 (小学生 30 名、スタッフ 14 名)

(2) 西部Bコース

- ・日時 : 平成 28 年 8 月 10 日 (水) 9:00～17:30
- ・見学施設 : (株)ミヨシ産業太陽光発電所、南部町役場法勝寺庁舎
- ・ストップ温暖化教室 : ふるさと交流センター
- ・参加人数 : 計 44 名 (小学生 30 名、スタッフ 13 名)

(3) 中部コース

- ・日時 : 平成 28 年 8 月 16 日 (水) 8:30～17:30
- ・見学施設 : 高千穂太陽光発電所 (エナテクス)、北条砂丘風力発電所、湯梨浜地熱発電所
- ・ストップ温暖化教室 : 湯梨浜町中央公民館
- ・参加人数 : 計 45 名 (小学生 30 名、スタッフ 15 名)

(4) 東部コース

- ・日時 : 平成 28 年 8 月 17 日 (木) 9:30～17:00
- ・見学施設 : 鳥取放牧場風力太陽光発電所、袋川発電所
- ・ストップ温暖化教室 : 殿ダム交流館
- ・参加人数 : 計 44 名 (小学生 34 名、スタッフ 11 名)

3 参加者アンケート調査

「夏休み！自由研究再エネ体験ツアー」に参加した小学生を対象に、環境意識の醸成や環境活動の推進に繋がったかどうか確認するためのアンケート調査を実施した。

調査方法は、ツアー終了後に往復葉書にて簡易な質問をし、当センターに返信されたものを集計対象とした。(送付数 124 件 回答数 58 回答率 43. 5%)

その結果、「自然エネルギーのことが分かった」(100%)、「以前に比べて頑張っているエコ活がある」(92%)等の成果を得ることができた。

IV 第 25 回せいきょうまつり木質バイオマス普及啓発業務

県内における地域エネルギー社会の実現に向けた取り組みの一環として、間伐材や木質ペレット等多様なバイオマス利用による再生可能エネルギー設備のさらなる普及に努めるため、広く県民を対象に家庭用木質バイオマス活用事例の紹介とそれらの実演、及びユーザとの意見交換等を通し、木質バイオマスへの関心を深め、家庭における木質バイオマス利用拡大を図った。

- ・主 催 : 鳥取県生活協同組合連合会
鳥取県生活協同組合・グリーンコープ生活協同組合とっとり・鳥取医療生活協同組合
米子医療生活協同組合・鳥取県共済生活協同組合・鳥取大学生生活協同組合
- ・後 援 : 鳥取県・新日本海新聞社
- ・実施日 : 平成 29 年 10 月 22 日 (日) 10 : 00～12 : 00
- ・会 場 : 鳥取県立布勢運動公園親水広場 (鳥取県鳥取市布勢 146-1)

- ・内 容：木質バイオマス普及啓発、木質バイオマスに興味を持たれた方への相談対応、ペレットグリルヒーターを活用したワークショップ、木質バイオマス活用事例を紹介するパネル展示
- ・参加者数：会場 延べ200名程度、相談者数 53名、試食品提供者数 169名分

V 地域における地球温暖化防止活動促進事業

地域におけるエネルギー起源二酸化炭素排出抑制を図りパリ協定の目標を達成するためには、地域における日常生活に関する温室効果ガスの排出の実態把握及び普及啓発に関して、地球温暖化防止活動推進員等（以下、「推進員等」という）と連携した調査の実施、並びにこれらの情報収集提供・普及啓発・広報活動が必要となる。このことから地域の関係主体との効果的な連携、連絡調整等を通じて、鳥取県地球温暖化防止活動推進センター事業の一層の円滑化と促進を図り、地域における活動の基盤を形成することによって低炭素社会の構築を目指すことを目的として、次の事業を行った。

1 地球温暖化対策等（COOL CHOICE）についての広報・啓発活動

(1) 「COOL CHOICE セミナー」講師派遣

自治会や学校、民間団体が主催する学習会やイベント、セミナー等に養成した講師（推進員等）を派遣し、参加者への低炭素活動の誘導を図るとともに「COOL CHOICE」への賛同を求めた。

- ・活動実績：計16箇所で開催（鳥取市8箇所、米子市7箇所、北栄町1箇所）
- ・派遣講師：延べ47名
- ・イベント等参加者：1,032人

(2) 「COOL CHOICE セミナー」講師の養成

COOL CHOICE セミナー講師養成講座を開催し、講師の養成を行った。

- ・開催場所：鳥取市1箇所、米子市1箇所で開催。また地球温暖化防止コミュニケーター養成セミナー（東京都）へ派遣した。
- ・養成人数：13名

2 地球温暖化防止活動推進員、活動団体等の支援

(1) スーパー推進員の養成

中国四国各県で開催されている地球温暖化防止活動の中で、特にCOOL CHOICEの啓発推進を目的として、中国四国の各地域地球温暖化防止活動推進センターが合同で推進員の養成を行った。

- ・日 時：平成29年9月7日（木）11：00～17：30
8日（金）9：15～12：00
- ・場 所：岡山国際交流センター8階イベントホール（岡山市）
- ・参加者：約80名（鳥取県から推進員等5名、スタッフ2名参加）

(2) スーパー推進員研修報告及び活動情報交換会の開催

- ・日 時：平成30年1月27日（土）13:30～16:00
- ・場 所：エキパル倉吉（倉吉駅併設施設）

・参加者：27名（スタッフ6名）

・概要

- セミナー講師 「温暖化対策と森林政策」 根本昌彦氏
「鳥取県の環境施策のこれから」 秋山賢治氏
「地球温暖化防止コミュニケーターについて」 服部健也氏

■活動交流会（プロジェクトプランニングワーク）

テーマ：低炭素社会構築へ、もう一歩踏み出すためにアイデアを出し合おう

（3）普及啓発ツール「COOL CHOICE ワークノート」の作成

推進員活動を発信するためのツールとして、推進員活動の実際を実態に即し分かりやすく解説したリーフレットを作成し、推進員が地域で活用できるように配布した。

- ・配布対象：一般家庭
- ・配布冊数：2,500冊

（4）「COOL CHOICE 薪冊子」の作成

県内で再エネを導入する際の情報を掲載した冊子を作成し、森林面積が76%と高い鳥取県の特徴を生かした木質バイオマスエネルギーを普及する団体等の支援を行った。

- ・配布対象：再エネ普及団体、推進員等
- ・配布冊数：2,500冊

3 「COOLCHOICE お宅の省エネ相談室」の実施

イベント等においてブース出展による省エネ相談会を開き、効果的な省エネ対策のアドバイスを行った。

- ・開催期間：平成29年12月～2月末
- ・開催場所：計6箇所（東部3箇所、西部3箇所）

4 「家庭の省エネアンケート」の実施

家庭部門のCO2排出削減に向けた効率的な普及啓発事業の推進を図るため、全国センターと同一の省エネアンケート調査を行った。

- ・調査期間：平成29年6月～12月、平成30年1月～2月
- ・回答者数：749人（男性267、女性447、無記入35）

5 鳥取県温暖化防止活動連絡調整会議の開催

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター事業について、関係各所との連絡調整を行うとともに、当該年度にかかる事業計画、成果等について協議を行うため、「鳥取県温暖化防止活動連絡調整会議」を開催した。

- ・開催日時：平成30年2月19日（月）13:30～15:30
- ・開催場所：鳥取県地球温暖化防止活動推進センター
- ・構成員
中国四国地方環境事務所、鳥取県生活環境部環境立県推進課、鳥取市環境下水道部生活環境課、日南町住民課長、NPO法人気候ネットワーク事務局長、推進員5名